

日 時：令和2年2月26日（水） 13:30～15:00

場 所：応接室

出席者：湯峯会長、浦西副会長、植野委員、秋山委員、安岡委員、田中委員、  
山田校長、下澤事務長、林首席、森岡首席、中村教頭

1 校長あいさつ

2 議事録確認

3 協議

○令和元年度学校経営計画の達成状況について（校長）

令和元年度学校教育自己診断結果に基づき説明・報告

- ・生徒の評価は、総じて高かった。保護者の評価は、下がっている部分があり検討が必要。新学習指導要領授業に向けて授業充実を進めている。

泉大津市との連携による「探究」の成果発表会は、今後も続けていく。

- ・進路指導は丁寧であるが、盛りだくさん。トータルキャリアプランの精選は必要。
- ・教育相談体制の整備が必要。来年度はSC2名体制で支援の充実をめざす。
- ・進路状況は例年同様であるが、一般入試の健闘を願っている。看護・医療はよく健闘している。就職は、伝統校ならではの地元の支援に感謝している。

○令和2年度学校経営計画について（校長）

- ・授業研究チーム（仮称）を立ち上げ、新学習指導要領を踏まえた授業充実を図っていく。
- ・支援教育体制の充実を図る。

協 議

○今年度の評価について

Q. 保護者の評価が下がっているが、何が原因か？（委員）

A. 例年より回収率が低いことと、授業満足度について聞き方（文言）を変えたことで下がったと考える。（首席）

Q. いじめ等に対する相談体制は、数年前からの数値を見ると上がってきているように見えるが？（委員）

A. いじめ等の相談支援体制のさらなる充実が必要と考える。（校長）

Q. 災害備蓄について、検討中となっているが？（委員）

A. 今年度の配備とはならなかったが、来年度、教職員の配備に合わせて生徒分の備蓄も配備の予定です。（事務長）

Q. 「探究」についての評価が少し低いようだが、先日の成果発表会を見る限りでは、生徒たちも満足しているように見えたが？（会長）

A. 指導する側の教員にこれでよいのかという不安がある。それが生徒の評価につながっていると考え。校内研修を踏まえ、まずは教員側が「探究」についてもっと深く学ぶ必要を感じている。  
（首席）

○令和2年度の計画について

Q. 授業充実研修とは、具体的にどのようなことをされる予定ですか？（会長）

A. 今年度ファシリテーションについての研修を企画いただいたが、授業成果を共有できるところまで、もう一段上げていく必要があると考える。研修の成果が、コアなメンバーや若年教員だけでなく、すべての教員に浸透させる必要がある。「探究」の時間だけでなく、すべての教科で探究活動を行えることがゴールである。（首席）

Q. 「あいさつ」は学校として取り組むべきことなのか？（委員）

A. あいさつを自主的にしてくれる生徒は多くないが、あいさつ運動を生徒（生徒会）の自主的な活動として、継続していきたい。（教頭）

意見交換

○次年度の支援体制について説明（首席）

Q. SCが2名体制になるということだが、来校頻度は？（委員）

A. 今年度は月に1回のところを月2回の体制になる。男女1名ずつとなり、得意分野もカウンセラーによって異なるので、広くケアできると考える。（首席）